

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人 よるべさ	代表者	大山 和彦	法人・事業所の特徴	南北に70キロ以上ある幌加内町の中でも市街地から30キロ以上離れた地域にある事業所です。介護サービスが市街地に集中しており、高齢化が進んだこの地域では除雪や病院が遠いなどの事情から地域を離れるしか選択がなかったのですが住み慣れた地域で最後まで過ごしたいという思いを支えていこうと平成24年に開設されました。登録者だけでなく、地域住民も対象とした、体操教室や買物ツアーなどの行事を実施したり、地域のボランティア活動への協力も行っています。
事業所名	スマイルホームえん	管理者	蔵前 直美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1		10		1			5		17

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①自己評価の改善計画の進捗状況を中間期に、職員全員で確認する。出来ていない点は、なぜ、出来ていないのか原因を探り、計画を達成できるようにし、9月の運営推進会議で報告する。</p> <p>②職員が自己評価にどのように取り組んだかわかる資料を添付する。</p> <p>③スマイルホームえんで、どのように支援しているのか、運営推進会議で説明する。</p>	<p>①中間報告は配布のみで終わった。理事長交代等があり、職員間での話し合いは十分に実施できなかった。</p> <p>②どのように自己評価に取り組んでいたのかわかる資料の添付はできなかった。</p> <p>③運営推進会議で活動報告を行ったが、支援内容の報告はなかった。</p>	<p>・コロナ禍での日々ながら利用者の方々の穏やかな笑顔の多い表情に出会う度にスタッフの方々のぬくもりと努力と素敵なチームワークを感じています。ありがとうございます</p> <p>・1名あまりできていないと答えているようですが同じ人ですか？もしそうなら改善策を具体的に個別に考える必要を感じます。なぜあまりできていないのか。同一人物でなければそれにはあたらないと思います</p> <p>・朱鞠内地区に関しては上記チェックの通りです。(利用者がいない)母子里朱鞠内につきましては十分に取り組んでいただいていると思っております。</p> <p>・これからもよるべさの理念を大切に運営される事を願っています。その本人の暮らしが、最後まである暮らしが利用者一人一人にありますように</p>	<p>①毎月の会議で進捗状況の確認を行う。出来ていない点は原因を探り、計画を達成できるようにする。</p> <p>②進捗状況を記録し、事業所での自己評価がどのように行われていたか分かるようにする。</p>

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>①季節行事の一覧を作成し、担当者は飾りつけや、作品作りの計画を立て、実施する。 ②玄関内外の清掃、整理整頓を曜日を決めて実施する。 ④寮玄関の入り口に防犯カメラを設置する。</p>	<p>①担当者が玄関や食堂等に季節ごとの飾りつけを行っていた。飾りつけは、毎月とても立派に制作されて、利用者さんも喜ばれていた。ただ作成者一人で行っているため、利用者さんと一緒にできたら、もっといいと思われた。 ②えんの玄関掃除は泊り利用の利用者が担当して行っていた。下駄箱も段ボールを敷く等して綺麗に維持されていた。しかし、寮の方は定期的に掃除をしている印象がない。食材を置かなくなったので、綺麗さは維持されていた。玄関掃除曜日を決めて、利用者さんと一緒にするようにしたが、時間帯により職員が足りず、工夫が必要と感じた。 ③防犯カメラは設置し、人の出入りが分かり、安心安全になったが、その後の管理方法を決めていなかった。</p>	<p>・心のこもった季節感たっぷりの飾りをとても楽しませて頂いています。</p>	<p>【改善計画】※後日記入 ①担当者で、季節テーマに合わせて、年間の計画を立てる。保育所の朝の会を活用し、利用者様も作品制作に参加してもらう。 ②寮の玄関の飾りつけに際し、利用者様と普段できない箇所の掃除を行う。シフトができた時点で担当者で曜日を決めて掃除を行う。えんは利用者様に行ってもらうことを継続する。 ③玄関ドアの開閉音に気を付ける。</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①利用者さんと一緒に、外に出る機会を作る。(散歩、花壇、畑作業など) ②地域の方が、一休みできる場所を、事業所の敷地内に設ける。 ③よるべさ通信で、事業所が工夫していることや、困りごとの相談に応じていることなどを、周知する。 ④プライバシーに配慮しながら、地域の方からの相談対応について、運営推進会議で報告する。</p>	<p>①天気の良い日は、利用者さんと一緒に外に出るよう心がけたり、花壇作業は利用者さんと一緒にできた ②寮の改修工事の為業者の車出入りあり、休憩場所を設ける事ができなかったが、コミセン改修中はよるべさで老人クラブや、よるごつぶを行ったので、少しずつ集まる機会が増えた。地域の方が集う場所をよるべさに作りたと思うが、どんな物が良いか、地域の皆さんの意見を聞いてみたい。 ③④通信での周知はしたが、会議では報告していない。</p>	<p>意見は特になし。</p>	<p>【改善計画】※後日記入 ①③継続する。 ②事業所の敷地内にテントを張り、中にテーブルとベンチを置く。テーブル作成などを地域の方と協力して行う。</p>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①引き続き、担当者会議に本人と関わりのある方に参加してもらい、意見をいただく。 ②感染予防を徹底し、利用者様が地域行事、イベントへの参加ができるようにするとともに、地域の方に参加してもらえる事業所の行事の企画を立て実施する。</p>	<p>①少人数で担当者会議を行った。 ②しゅまりの会の協力を得て、パークゴルフ大会に向けた練習を行う事が出来たが、コロナ対策で肝心の大会を開くことが出来なかった。感染予防をながら、餅つき会は開催できた。老人クラブでの温泉に、付き添いに入って参加できた。</p>	<p>個の状況に応じて配慮されていると思うとの意見があった。</p>	<p>【改善計画】※後日記入 ①担当者会議に本人とかかわりのある方に参加してもらう。コロナの状況を見て、全員で開催できないときは、会議の前に個別で本人の現在の状況説明や、聞き取りを行う。 ②飲食なしのイベントを出来る限り実施する。 ③利用者さんと一緒に老人クラブや自治区の行事へ参加する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①運営推進会議に参加できなかった方に議事録を配布する。 ②会議では地域の困りごとを聞き取る。 ③助け合いネットワークのマニュアルを見直して、令和三年度も模擬訓練を実施する。</p>	<p>①議事録の配布を管理者が実施していた。実績報告を申し送りにはさみ職員にも周知した。 ②地域の困りごとで、フカイチが撤退したことにより買い物弱者の為のボランティア団体を自治区で作ったらよいなど。会議で話し意見交換した。 ③マニュアルの見直しは行ったが、模擬訓練は出来なかった。模擬訓練をやりやすい時期に設定し、年間の予定に組み込む必要がある。</p>	<p>買い物ボランティアの窓口はよるべさになるとよいとk案じています。</p>	<p>【改善計画】※後日記入 ①会議に参加できなかった方へ議事録を配布する。 ②会議では、地域の困りごとを聞き取る。 ③活動報告では、三自治区の方がどのように参加しているかなども報告する。 ④模擬訓練は年間行事計画に入れ込み、保健福祉課とスケジュールを調整し実施する。 ⑤運営推進会議には職員全員が参加する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>①地域の方にも防災訓練に参加してもらう。 ②訓練での課題抽出を行い、運営推進会議にて、意見を出し合い、防災計画の見直しを行う。 ③防災備蓄品を常に把握しておくために、一覧表を作成し定期的に残数などの、管理をする。</p>	<p>①6月の避難訓練をよるざっぷ実施の日に合わせて地域の方へも参加してもらうことができた。11月の避難訓練は運営推進会議にはかり沢山の意見をいただいた。 ②防災備蓄品の一覧を作ったが、スペースの見直しにより配置が変わってから作り直していない為、</p>	<p>意見は特になし。</p>	<p>①防災備蓄品リストを作成し、在庫切れや賞味期限切れがないようにする。 ②自治区防災訓練、地域消防団と提携し、地域の方と共に訓練に参加する。 ③防災訓練を行う際、計画表、実施結果、課題検討などを通信「別紙」で作成し、出来るだけ簡単かつ</p>

	④非常用発電機を購入する。	職員全員が把握できる状況		詳細に載せ、地域の方に周知する。 ④AED が設置してある施設である という事を地域の方へ周知する。
--	---------------	--------------	--	--

資料 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月 9日 (日)
------------------	-----	----------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田
--------------------	------	--------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6			8

前回の改善計画	①初期支援の流れを管理職で作成し、全職員に明示する。 ②職員はその流れを確認すると共に、担当・副担当から示されたアセスメント、ケアプランを読み込んで支援にあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	①初期支援の流れを大まかにはまとめていたが、周知せず終わってしまった。 ②アセスメント、ケアプランを読み込み、さらにケア記録や担当・副担当より情報を得て、いつでも支援に当たれるように努めたという職員がいた一方、ケアプラン等を読み込みきれず、きちんと把握していなかったという職員もいた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7	1		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		8			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	2		8

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 初期支援対象者は1名のみだった。利用開始前から、地域での関わりや、事業所の行事への参加などで、情報はある程度とれていた。アセスメントやカンファレンスには副担当も参加し、一緒に支援できた。 利用を開始してからは、通いで来ている時に必ず声をかけ、不安なことはないか、してほしい事はないかなど聞き取り、都度記録した。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 利用曜日と勤務日が重ならず、本人と直接かかわる機会がなかったという意見や、アセスメントやケアプランをあまり読み込んでいなかったという意見があった。 また、職員個々に読むだけでは理解できない事も多く、直接担当者から聞き取る方が理解が早いという意見があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	①初期支援の流れを具体的に示し、職員間で共有する。 ②サービス開始前に必ずミーティングを開催して、情報を共有し支援にあたる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5	3		8

前回の改善計画
①担当・副担当でご本人の「～したい」の実現に向けて、アセスメント、ケアプラン作成等を行う。そのためのマニュアルを管理職で作成し、明示する。 ②自分の担当するご利用者について、プランを作成した直近のミーティングで目標等の説明をする。 ③ライフサポートワークプランの研修会を通常の研修とは別に開催する。 小規模多機能型居宅介護事業所としての支援の流れを理解し、日々のかかわりに活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果
①管理職でのマニュアル作成ができなかった。担当、副担当で本人の「～したい」について話し合いはしたが、結論が出ないまま過ぎてしまい、今必要な事をプランに盛り込むのみになってしまった。 ②プランを作成したときは、ミーティングで周知し、ケア記録に明記した。 ③ライフワークプランや小規模多機能型居宅介護事業所についての研修は開催できたが、日々の関わりには十分活かしきれなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	3		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	2		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	3		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	1		8

できている点
・ケア記録にかかっている目標を確認していた。 ・ミーティングを毎月するようになったので、プランに向けての相談もできたと思う。 ・日々の関わりの中で利用者様のコンディションに合わせ、興味を持っている事の提案や、したい事ができるような関わりを他スタッフと相談しながら行った。ご本人の「～したい」想いに気づけるように接した。 ・実践した関わりは、ミーティングや、会議で話し合い、振り返りを行った。次の対応に行かせていた。

できていない点
・目標を見てはいるが、日々の支援で意識できていない事がある。 ・日々の「～したい」に対しての関りは何とか出来ているが、ケアプランに反映されていないことが多かった。 ・ケアプランが出来ていても、事務作業で紙に形を残すことができず、タイムリーにプランの変更がなされていないことがあった。 ・職員で本人の目標 (ゴール) について深く話し合う機会が取れず、理解が浅いと思うことがあった。

次回までの具体的な改善計画
①ケアプランは、本人の状況の変化に合わせてその都度修正し、事務作業が得意な職員と連携し、タイムリーに変更する。 ②本人の目標 (ゴール) について、職員全員で月1回、1名の利用者様についてミーティングを行う。 ③ミーティングを行う前に、そのご利用者様の副担当は、ケア記録からの気づきをまとめ、他職員は、意識して話を聞いたり、日常での関わりから、気づいたことをまとめておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

3. 日常生活の支援

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		7	1		8

前回の改善計画

<前回の改善計画>

- ①ご利用者様のアセスメント及びプランをしっかりと読み込む。
- ②ご本人の声にならない声に注目し、気づきをケア記録に書き込む。担当又は副担当はチームでの共有を図るために、必要時ミーティングを開催する。
- ③新たな情報はケア記録の余白に新情報として書き込む。
- ④介助方法に不安や疑問を感じた時は、担当又は副担当に相談し、必要時ミーティングを開催する。又は面談時に相談する。管理職は面談を利用して、職員の不安や疑問の解消に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①アセスメント、ケアプランを読み込んでいても現状とあってない場合がある。担当と副担当で話すことはあるが記録されていないことがあった。
- ②気が付いたことは、都度、ケア記録に書き入れた。かかわった職員でなくても、追加など記録していた。ミーティングの開催は月一回、行った。
- ③新たな情報はケア記録へ記入し、また必要時ミーティングを行い情報共有できた。
- ④介助方法について相談を受けた時は、助言したり見てもらったりした。本人の状況により変わる場合は、写真や動画で見れるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	1		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6	1		8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	1		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7	1		8

できている点

- ・アセスメントなどで以前の暮らし方を知ることができている。
- ・基礎的な介護はできている。日々の支援をご本人の希望など聞きつつ支援している。
- ・月一回のミーティングや、その日の勤務者の中での気づきなどを話し合い、共有できている。
- ・利用者様の状況や変化などタイムリーな情報共有を行い、チームでの支援が柔軟に行えるように努めた。

できていない点

- ・声にならない声等をプランや日々の支援に反映する事が出来ていない。
- ・利用者様によって、記録が少なく、関わりがあまりとれていないと感じる時があった。

次回までの具体的な改善計画

- ①朝礼時に、その日の各利用者様の担当を決め、ケアプランに基づいてどのように関わるのか確認し、実施した内容を記録する。
- ②2. 「～したい」の実現の改善計画②、③と共通。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	3		8

前回の改善計画	
<前回の改善計画>	
①軒下マップを担当・副担当で1年に1回見直しをする。	
②通いや訪問利用時に、バイタルの確認だけではなく、体調の確認や生活の様子を聞き取り、ケア記録に記載する。	
③「家族への手紙」を再開し、本人と家族の関係をつないでいく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①軒下マップの見直しはできなかった。	
②体調を含めた状況のお話を聞くようにし、ケア記録へ記載した。	
③家族への手紙は再開でき、家族が日々の様子が分かるようになったが、担当へ任せきりになってしまったという意見があった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	1		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	3		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	2		8

できている点	
<ul style="list-style-type: none"> ・継続利用者が多いので、今までの生活状況等は把握できている。 ・事業所の行事や老人クラブに参加してもらい、地域の方と交流できる機会を作れた。 ・体調や家での過ごし方など以前より聞き取るようにし、その都度ケア記録へ残している。 ・地域に住んでいる職員が多いこともあり、だいたい把握できている。 	

できていない点	
<ul style="list-style-type: none"> ・軒下マップは作成したが、状況の変化に合わせた見直しができなかった。 ・家族への手紙を再開したが、職員でその内容を共有していなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	
①通い送迎時に自宅に上がらせてもらい、暮らしぶりを知るように関わってゆく。	
②寮・泊り利用者さんも居室にてお話しする時間を増やして暮らしぶりを把握し、気づきや思いを記録する。	
④引き続き老人クラブへ参加し地域とどのようにかかわっているかを見て、軒下マップ作成資料とする。	
⑤家族の手紙を職員で共有するために、ご本人のケア記録へ入れ内容を把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日(日)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	5	2		8

前回の改善計画

<前回の改善計画>

- ①軒下マップを担当・副担当で1年に1回見直しをする。
- ②職員一人ひとりが、気づいた本人の変化やニーズを担当または副担当に問題提起して、随時ミーティングにつなげる。
- ③その日の申し送りを毎日グループラインにあげ、状態変化が即時的にわかるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①軒下マップの見直しは、日程を決めていなかったため、できなかった。
- ②本人の変化があった時は、その日の職員で報告しあい記録に上げており、共有できた。ミーティングでも共有することができた。
- ③申し送りはラインワークスで周知し、介助や服薬の変更も随時ラインで知らせた。休みの職員も変化があれば知ることができ、不安なく勤務に入れるという意見があったが、周知する職員が固定しており、その職員がいないと更新されないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6			8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	6	1		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	6			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		8			8

できている点

- ・老人クラブ、コミセン改築内覧会、初詣など地域の行事に利用者様をお誘いし、事業所の外とつながる機会を増やす事に努めた。また実際に現地にいけない利用者様には写真をお見せし説明するなど、出身地域の情報提供を行った。
- ・出来ているとの意見が多かった。
- ・本人に変化があったときは記録し、朝礼やラインなどを活用して周知した。後日ミーティングで改めて皆で確認しあった。
- ・本人の状態を見ながら、できることや興味のあることを声掛けしたり、入浴など状態に合わせて、日程を変更するなど対応できていた。

できていない点

- ・通いのみの利用者様との関わりが、少ない。

次回までの具体的な改善計画

- ①ケアプラン作成時に軒下マップの見直しを行う。
- ②4. 地域での暮らしの改善計画①と同様

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

6. 連携・協働

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		4	4		8

前回の改善計画

<前回の改善計画>

- ① 保育所及びしゅまりの会への参加協働は継続する。
- ② 開催されるその他のサービス機関との会議（推進会議、ケアカフェなど）に積極的に参加する。

※副担当との協働については、2.「～したい」の実現の項目で計画する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ① 保育所は毎週、朝の会をよるべさにて行ってくれており、利用者との交流が増えていた。しゅまりの会へは、行事の計画など会議に参加したり、敬老会対象者へのプレゼント作成など協力できた。
- ② サービス機関との会議については固定の職員しか参加できていない。ケアカフェは今年度は実施されなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	3	4	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	3	3	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		3	3	2	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		7		1	8

できている点

- ・自治会の会議にできるだけ参加した。婦人会の活動は少なかったが、参加することができた。
- ・しゅまりの会の集まりに参加した。また保育所職員より情報を得るようにしている。地域の方と会話するように心がけた。感染予防対策に努めながら行事を企画し、地域の方に参加してもらうことができた。

できていない点

- ・会議自体は行っていない。その他のサービス機関との連携については、固定の職員しか取れていない。
- ・会議イベントにほぼ参加できていない、幌加内まで行くのはなかなか難しいとの意見があった。

次回までの具体的な改善計画

- ①引き続き、保育所行事・しゅまりの会行事・朱鞠内自治会の買い物ボランティアへの参加を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

7. 運営

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	6	1		8

前回の改善計画

<前回の改善計画>

- ①職員は、面談の中で、事業所運営についての気づきを面談担当者に伝える。
- ②引き続き、運営推進会議へ全員が1回は参加できるようにする。
- ③地域課題の話し合い等に、事業所として参加し、協力していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①面談を行った時は、職員一人ひとりが意見を出していた。面談担当者同士で情報を共有し、意見が反映されるように努めた。
- ②全員ではないが参加でき、地域の声を実際に聞くことができた。
- ③話し合いがあったときは参加し意見を伝えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		7	1		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	3		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	3		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	3		8

できている点

- ・面談で事業所運営について職員の意見を聞くことができた。
- ・利用者からの意見や苦情については聞き取り、会議などで話し合った。
- ・地域から職員の支援態度等について意見を聞き取り、運営に反映した。
- ・今春より実施予定だが地域の方の楽しみや地域の子供達への食育の機会を増やす為の施策をしゅまりの会にて提案した。(例：大豆を育てて味噌を作る工程を子供たちと一緒にやる)

できていない点

- ・会議に参加する機会がなく、地域の方からの意見や苦情があるのかわかっていないという意見があった。
- ・面談が計画的にできず、回数が少なかった。

次回までの具体的な改善計画

- ①月一回、外部評価で立てた計画の達成状況を確認する。
- ②運営推進会議に職員は全員参加できるようにする。
- ②面談を月一回実施する (事業所への意見など聞き取る)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		8			8

前回の改善計画

<前回の改善計画>

- ①ヒヤリハットがあった時は、必ずその日の職員全員で内容を確認して記録し、申し送りにつける。グループラインにあげ、勤務していない職員にもタイムリーに周知する。
- ②職員会議で1か月間のヒヤリハット、インシデントアクシデントを振り返り、再度確認する。
- ③リモートでの研修を中心に、計画を立てて職場内、職場外の研修に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①ヒヤリハット、インシデント等について、ラインワークスにアップしたものを確認している。まとめてみる事ができるので、職員会議等で話し合う事も出来ている。
- ②職員会議で振り返り、対策などの確認を行った。
- ③職場内研修は毎月行い、ほとんどの職員が参加していたが、リモートでの研修は積極的に開催予定を検索しなかったため、ほとんどの職員が参加できなかった。
個人的に書籍やインターネットで学習している職員もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	1		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	4	8
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	5	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	1		8

できている点

- ・職場外研修は気になるものをzoomで参加している。本を読んで知識を深めている。
- ・ほとんどの職員が参加できていなかった。
- ・リスクマネジメントについて、職場内研修以外にインターネットや書籍で知識を付け実践に繋げるよう努めている。不安な点は上司にタイムリーに相談し指示を仰いでいるという意見があった。

できていない点

- ・ほとんどが、職場外への研修に参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画

- ①認知症ケアや虐待予防に対する知識を高める研修を実施する。
- ②認知症ケア専門士の試験を積極的に受けてもらう。
- ③外部講師によるzoomでの研修を計画する。
- ④ヒヤリハット・インシデントの再確認を月一回実施し再発防止にあたる。
- ⑤利用者さんも一緒に認知症の研修に参加してもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 実施日 令和4年 1月 9日 (日)

9. 人権・プライバシー

メンバー 蔵前、宮脇、矢作、平沼、石合、小関、上田、小野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		5	3	1	8

前回の改善計画

<前回の改善計画>

- ①月1回の職場内研修以外の時間で、虐待について研修する機会を作る。
- ②職員にチェックシートを渡し、面談で確認する。
- ③ご利用者に対し、職員の日頃の声かけ等についての考えを聞き取り、虐待予防につなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①研修以外の時間で虐待についてはできていない。
- ②チェックシートの確認は行えなかったが、面談で個々に意見を聞いたり、指導を行った。
- ③ご利用者からの聞き取りは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	5	3			8
② 虐待は行われていない	1	6	1		8
③ プライバシーが守られている	1	5	2		8
④ 必要な方に成年後見制度を活用している					該当なし
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	1	7			8

できている点

- ・身体拘束をしていない。虐待予防の研修を実施。虐待と思われる事案については、厳しい態度で接した。日頃の声掛けについては改善された。
- ・入浴や排泄など他の方に見えないようにするなどの配慮はできていた。

できていない点

- ・職員同士の話し合いが大きい場面があり、利用者様への配慮が不十分だったり、声掛けで、職員の感情が出てしまっていることがあった。

次回までの具体的な改善計画

- ①利用者様への日ごろの声掛けについて利用者様がどう感じているか、モニタリングや、日常での会話の中から、聞き取りを行う。
- ②朝礼時の申し送りや、職員同士の会話など、ご本人が聞いていても、不快にならないような言葉について、学習する。
- ③認知症ケアや虐待予防に対する知識を高める研修を実施する。
(研修内容は8 質を向上するための取組で実施)
- ④月一回面談を実施する (管理者・主任がひと月交代で全員と面談する)